

# イスラーム映画祭10

## 2025.5.3SAT-5.9FRI 神戸・元町映画館

インターネット / 日本映画翻訳アカデミー / OfficeQ / AFD-Typecast Films / Charades Films / Deutsche Kinemathek / Diversion / Filmosaurus Rex Ltd. / Luxbox Films /  
MAD Distribution / mk2 films / Shoman Productions / The Party Film Sales / Wide Management  
islamicff.com



### TIMETABLE

5/3 SAT	12:30	モーグル・モーグリ	14:40	さよなら、ジュリア <b>トークセッション:1</b>
5/4 SUN	12:30	カシミール 冬の裏側	15:00	ラナー、占領下の花嫁 <b>トークセッション:2</b>
5/5 MON	12:30	母たちの村 <b>トークセッション:3</b>	15:50	ハリーマの道
5/6 TUE	12:30	シリンの結婚 <b>トークセッション:4</b>	15:50	チュニスの切り裂き男
5/7 WED	12:30	イチジクの樹の下で	14:45	カシミール 冬の裏側 <b>トークセッション:5</b>
5/8 THU	12:30	ラナー、占領下の花嫁	14:40	怒れるシーラ <b>トークセッション:6</b>
5/9 FRI	12:30	ギャベ	14:15	神に誓って <b>トークセッション:7</b>

★トークセッションのない日も上映後に5~15分程度のミニ解説がございます。

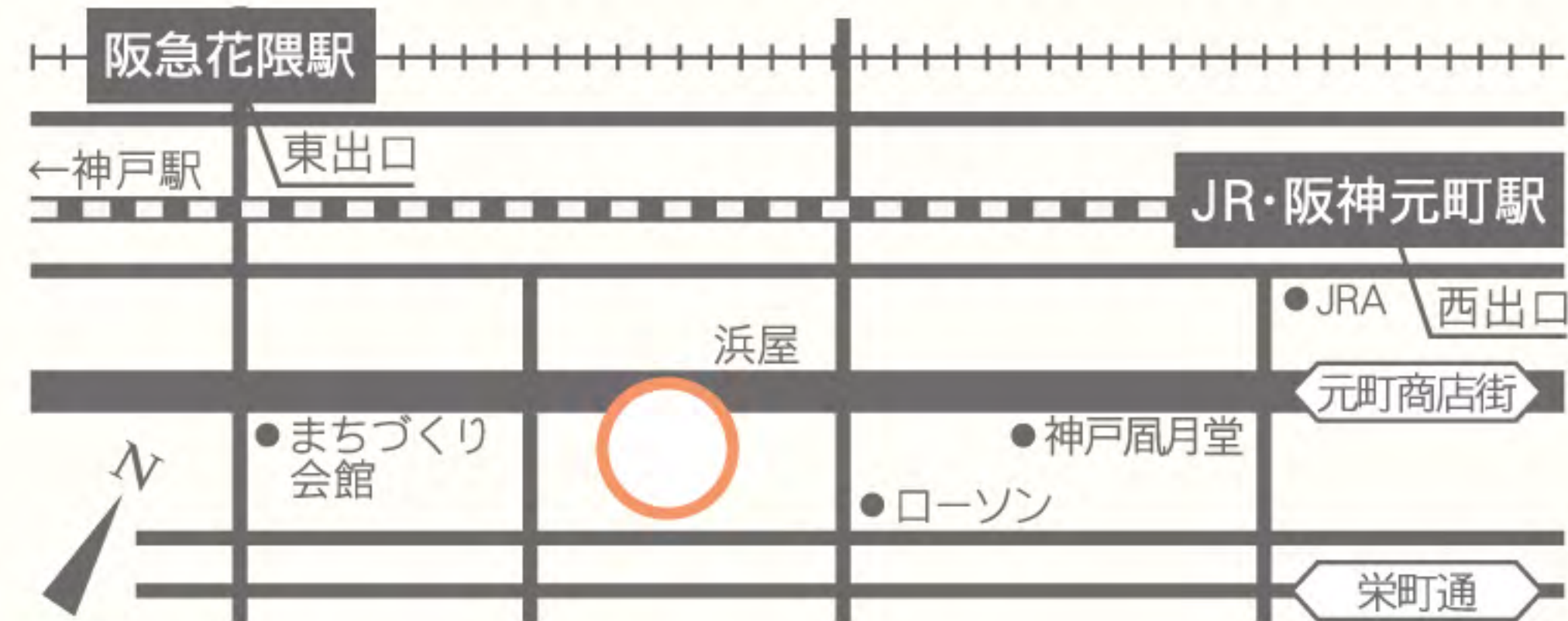
### TALK SESSION

トークセッション 1	5/3 sat 『さよなら、ジュリア』上映後 なぜ「さよなら、南スーダン」になったのか？ — 歴史に翻弄されたスーダン人の今と未来	ゲスト：丸山大介氏 防衛大学校 准教授
トークセッション 2	5/4 sun 『ラナー、占領下の花嫁』上映後（オンライン） ある日のエルサレム 《占領》という日常	ゲスト：岡真理氏 早稲田大学文学部 教授 / アラブ文学者
トークセッション 3	5/5 mon 『母たちの村』上映後 女性器切除 (FGM) — 社会を変える“ボジ・デビ”な女性たちの闘い	ゲスト：戸田真紀子氏 京都女子大学現代社会学部 教授
トークセッション 4	5/6 tue 『シリンの結婚』上映後 トルコ系移民とドイツ社会 — 映画がもたらした危険な騒動	ゲスト：渋谷哲也氏 ドイツ映画研究者 / 日本大学文理学部 教授
トークセッション 5	5/7 wed 『カシミール 冬の裏側』上映後 カシミール紛争と映画、そして紛争の現在	ゲスト：拓徹氏 中央大学・政策文化総合研究所 客員研究員
トークセッション 6	5/8 thu 『怒れるシーラ』上映後（オンライン） ブルキナファソの女性監督が世界に訴える、“サヘル危機”とは？	ゲスト：岩崎有一氏 ジャーナリスト / アジアプレス
トークセッション 7	5/9 fri 『神に誓って』上映後 「神の名をもてあそぶな」 — ショエーブ監督の焦燥と9.11後のパキスタン	ゲスト：故・麻田豊氏 ウルドゥー語学・文学 / インド・イスラーム文化研究者

動画撮影、録音は固くお断りいたします。ゲストが予告なく変更、またはトークセッションが中止となる場合がございます。イベント時間は各回 45分~1時間を予定しています。

### TICKET/ACCESS

- 一般 1800 円
- シニア(60歳以上) 1300 円
- 学生・障害者 1000 円
- 神戸映画サークル会員 1300 円
- サポーターズクラブ 1200 円
- 月・金曜いっしょ割 2名以上のご利用でおひとり 1300 円
- 3回券 4200 円 ※映画祭期間中のみ販売



**元町映画館** 住所：神戸市中央区元町通4丁目1-12  
電話：078-366-2636 HP: www.motoei.com

■注意事項 時間は上映開始時刻です。日によって異なりますのでご注意ください。各回入替制、全自由席で、整理番号順でのご入場となります。整理番号付チケットは、劇場オープン(9:30AM)と同時に当日の全回分を販売いたします。満席の場合はご入場いただけません。上映作品が予告なく変更となる場合がございます。上映素材によっては映像や音声に不具合のある場合がございます。

UK 日本初公開



『モーグル・モーグリ』 with Japanese and English subtitles

監督：バッサム・ターリク  
 原題：Mogul Mowgli 製作国：イギリス＝アメリカ  
 2020年 89分 英語 / ウルドゥー語

NYを拠点とし、欧州ツアーの出演が決まったラッパーのゼッド。恋人に、ルーツを歌いながら家族を避けている自らの矛盾を突かれた彼は、ツアー前に英国の親許へ帰郷する。しかし、ある晩倒れ、自己免疫疾患との診断を受ける…。

【解説】パキスタン系の英国人俳優でラッパーのリス・アーメッドが、自身を投影した作品です。移民の第2世代、ムスリム、父親との確執など、ルーツと向き合わざるをえなくなった主人公の混沌とした内面が、独創的に描かれます。

SUDAN 日本初公開



『さよなら、ジュリア』 with Japanese and English subtitles

監督：ムハンマド・コルドファーニー  
 原題：Wadaean Julia 英題：Goodbye Julia 製作国：スーダン＝エジプト＝ドイツ＝フランス＝サウジアラビア＝スウェーデン 2023年 120分 アラビア語

2005年、南部の解放運動が続くハルツーム。夫の命令で歌手をやめたモナはある日、自分の過失から取り返しのつかない悲劇を招く。罪悪感に苦しむ彼女は、真相を隠したままその被害者の妻ジュリアと息子の面倒を見ることに…。

【解説】南スーダン独立前の時代を背景に、ある事件を機に出会った北部人のムスリム女性と、南部ルーツのキリスト教徒女性の日々を描いたドラマです。2人の関係に南北スーダンが重ねられ、人種差別や宗教の問題が繊細に語られます。

BURKINA FASO 日本初公開



『怒れるシーラ』 with Japanese and English subtitles

監督：アポリヌ・トラオレ  
 原題：Sira 製作国：ブルキナファソ＝セネガル＝フランス＝ドイツ  
 2023年 122分 フラニ語 / モシ語 / フランス語 / 英語

フラニの女性シーラとその一族は、キリスト教徒の婚約者家族のもとへ向かう途中、武装組織に襲撃される。抵抗したシーラは拉致され、凌辱を受け砂漠に捨てられてしまう。彼女は砂漠をさ迷い、やがて組織の基地にたどり着くが…。

【解説】非道なジハード主義者に家族と尊厳を奪われた遊牧民女性の、生きるための闘いと復讐を描く物語です。不安定な情勢が続くサヘル地域の実情を織り込みながら、無力な犠牲者としか見なされない女性たちに声を与えています。

※本作には性暴力を描いたシーンがございます。

SENEGAL



『母たちの村』 with Japanese subtitles

監督：ウスマン・センベヌ  
 原題：Moolaade 製作国：セネガル＝ブルキナファソ＝モロッコ＝チュニジア＝カメルーン＝フランス 2003年 125分 バンバラ語 / フランス語

西アフリカのとある村。シレ家の第二夫人コレのもとに、ある日4人の少女が割礼から避難してくる。割礼が原因で二度の死産を経験し、娘の阿姆サトゥに割礼を受けさせなかったコレは、少女たちの“モーラーデ(保護)”を始めるが…。

【解説】「アフリカ映画の父」と呼ばれた作者が、今もアフリカを中心に世界各地に残る“女性器切除(FGM/C)”の廃絶を願って作った、勇気ある女性たちの物語です。割礼とモーラーデ、二つの伝統的慣習を対比させて描いています。

※本作には暴力的なシーンがございます。

TUNISIA 日本語字幕付初公開



『チュニスの切り裂き男(シャッラート)』 with Japanese and English subtitles

監督：カウサル・ビン・ハニーヤ  
 原題：Le Challat de Tunis 英題：The Challat of Tunis  
 製作国：チュニジア＝フランス＝UAE＝カナダ 2014年 90分 アラビア語

革命前の2003年に、複数の女性がバイクに乗った男に切りつけられるという事件があった。人々は犯人を“切り裂き男(シャッラート)”と呼んで噂したが、その姿を見た者はない。革命後、作者は噂の真相を求めて映画制作を始めるが…。

【解説】独裁政権時代に起き、真相が不明のままになっている女性への暴行事件をテーマにした作品です。“疑似”ドキュメンタリーの手法を混ぜながら、革命前から変わらず女性が生きづらいチュニジアの男性優位社会を諷刺しています。

TUNISIA 日本初公開



『イチジクの樹の下で』 with Japanese and English subtitles

監督：エリーゲ・セヒリー  
 原題：Taht alshajra 英題：Under the Fig Trees  
 製作国：チュニジア＝フランス＝スイス＝ドイツ＝カタール 2022年 93分 アラビア語

フィディとメレクの姉妹をはじめ、労働者たちは夜明けとともに集まり、トラックに乗ってイチジク摘みに出かける。中には、地元へ帰ってきたメレクの元カレ、アブドゥもいた。敬虔なサナーはフィラスとの結婚を望んでいるが…。

【解説】チュニジア北西部の果樹園を舞台に、老若男女の農業従事者たちの1日を描いた群像劇です。登場人物たちが繰り広げる人間模様から、恋愛、人生、労働、搾取、性差別、世代、信仰をめぐる様々な価値観が浮かび上がります。

GERMANY 日本初公開



『シリンの結婚』 with Japanese and English subtitles

監督：ヘルマ・ザンダース＝ブラームス  
 原題：Shirins Hochzeit 英題：Shirin's Wedding  
 製作国：西ドイツ 1976年 121分 ドイツ語 / トルコ語 / ギリシャ語

トルコの農村に住む若い女性シリン。父親が絡むある一件により政略結婚させられることになった彼女は、幼い頃に結婚の約束がなされたマフムドを追い、ドイツのケルンへと逃げる。工場で働き、友だちもできるシリンだったが…。

【解説】生涯にわたり女性をめぐる問題を繰り返した作者が、ドイツ国内の移民をテーマに製作した作品です。劇場公開前にTV放送されるや賛否渦巻く大反響を呼び、シリン役の俳優はトルコの愛国主義者から殺害予告さえ受けました。

※本作には性暴力を描いたシーンがございます。

BOSNIA and HERZEGOVINA 日本初公開



『ハリーマの道』 with Japanese and English subtitles

監督：アルセン・アントン・オストイッチ  
 原題：Halimin put 英題：Halima's Path 製作国：ボスニア・ヘルツェゴビナ＝クロアチア＝スロベニア＝ドイツ＝セルビア 2012年 97分 ボスニア語 / セルビア語

紛争終結から5年。ボスニア西部の村に住むムスリム女性ハリーマは、紛争中、セルビア組織に連行され処刑された夫と息子を捜していた。やがて遺体は見つかるが、彼女はそれが息子であると証明するためのDNA提供を拒否する…。

【解説】1990年代にセルビア人、クロアチア人、ボシュニャク人(ボスニア・ムスリム)の間で交わされた、ボスニア紛争の傷痕を照らすドラマです。理不尽に愛する者を奪われ、傷ついた人々の癒えない悲しみが丁寧に描かれます。

PALESTINE 劇場初公開



『ラナー、占領下の花嫁』 with Japanese and English subtitles

監督：ハーニー・アブー＝アスアド  
 原題：Al-Qods fee yom akhar 英題：Rana's Wedding  
 製作国：パレスチナ＝オランダ＝UAE 2002年 86分 アラビア語

イスラエルの占領下、ある日のエルサレム。ラナーは父親から、自分とエジプトに行くか、4人の候補から夫を選び結婚するかの二択を迫られる。ハリールという恋人がいるラナーは、父親の発表までに結婚しようと彼に会いにゆく…。

【解説】『パラダイス・ナウ』などで知られる作者が、初めて製作したパレスチナ映画です。第2次インテファダ最中の東エルサレムで撮影され、占領下でも日々を前向きに生きようとする、パレスチナ人の抵抗の精神が描かれます。

IRAN



『ギャベ』 with Japanese and English subtitles

監督：モフセン・マフマルバフ  
 原題：Gabbeh  
 製作国：イラン＝フランス 1996年 73分 ヘルシャ語

絨毯(ギャベ)を洗う老夫婦の前に、一人の娘が現れる。自らをギャベと名乗る娘は、問われるままに自分の身の上を語り出す。遊牧民の一家に生まれた彼女は、狼の声を持つ男に恋をするが、父親はよそ者との恋愛を許さない…。

【解説】主にザーグロス山脈の麓に暮らす遊牧民が織る絨毯(ギャベ)の美しさに、寓話的な恋物語を託したファンタジーです。赤青黄を基調とする鮮やかな映像が、イラン社会は色彩を失っているとする作者の批判精神を表しています。

INDIA (KASHMIR) 日本初公開



『カシミール 冬の裏側』 with Japanese and English subtitles

監督：アーミル・バシール  
 原題：Maagh 英題：The Winter Within  
 製作国：インド＝フランス＝カタール 2022年 99分 ウルドゥー語 / カシミール語

ナルギスは消息不明の夫を捜すため、スリナガルで住み込みの家政婦やショール織りをして金を稼いでいた。しかし、夫が反政府運動に参加していた事が雇い主に知れ、追い出されてしまう。ナルギスは夫と暮らしていた村に戻るが…。

【解説】1947年の分離独立以来、インドとパキスタンの対立要因となっているカシミールの現実を、カシミール人監督が現地の視点で紡いだ物語です。主人公が織る美しいショールが、凍てついた風景にかすかな温もりを与えます。

PAKISTAN アンコール



『神に誓って』 with Japanese and English subtitles

監督：ショエーブ・マンズール  
 原題：Khuda Kay Liye 英題：In the Name of God  
 製作国：パキスタン 2007年 168分 ウルドゥー語 / 英語

ラホールでポップデュオを組んでいる兄弟。しかし、弟が過激な思想に感化されて音楽をやめてしまい、兄は弟を心配しながらもシカゴに音楽留学する。一方、ロンドンに住むいとこのマリヤムは、英国人とこの結婚を快く思わない父親に…。

【解説】過激なイスラーム主義者と穏健なムスリムとの軋轢や、欧米に蔓延するイスラーム嫌悪など、“9.11”以降のイスラーム社会が抱える葛藤を描いた社会派ドラマです。本国で大ヒットし、一大センセーションを巻き起こしました。

# 世界映画祭